

中学校第1学年 英語科学習指導案

学校名

指導教員

授業者 関西大学外国語学部外国語学科

1. 日時: 令和5年6月13日(火) 第1時限目 9:00~9:50 (50分間)
2. 場所:
3. 学年・組: 第1学年C組 39名(在籍:男子20名/女子19名)
4. 単元名・指導教科書等:  
三省堂 NEW CROWN English Series 1 Lesson 3 Our New Friend (p.49-68)
5. 単元目標:  
this / that の基本文(肯定文・否定文・疑問文), this を用いた疑問詞疑問文を作成することが出来る。

6. 教材観:  
本単元は花の所属するクラスにインドからの転校生が来た場面から始まる。転校生のディヌーがインドにいる友人に対して日本のことを紹介し、ディヌー自身が日本文化について学ぶ場面へと続く。言語材料としては this の基本文と疑問詞 what を用いた疑問文が扱われている。日本のことを知らない転校生が日本のことについて母国の友人に手紙を送ったり、日本の友人から日本文化について学んだりするといったテーマは、学校行事や社会生活を通して関わることとなる外国人との異文化交流のために有意義なものである。その際に this の基本文や what を使った疑問文は相手の国の文化について尋ねたり、反対に自国の文化について相手に説明したりすることに適している。

7. 生徒観  
1年C組は男子20名、女子19名の39人学級である。学習に対して苦手意識を持つ生徒もいるが、全体的に与えられた課題には集中して取り組もうとするメリハリのある生徒が多い。また、失敗をそれほど恐れず、自らの意見を積極的に発言しようとする前向きなクラスである。しかし、座学が苦手な生徒も在籍しているため、生徒を飽きさせないための動きやアクティビティの工夫が必要である。

8. 単元(題材)の評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〔知識〕 this / that を用いた基本文と疑問詞 what を用いた疑問文の意味を理解している。 〔技能〕 this / that を用いた基本文と疑問詞 what を用いた疑問文に関する理解をもとに、本文の内容について理解している。	留學生が経験した日本文化などについて話されたモノログやダイアログの概要を捉えている。	留學生が経験した日本文化などについて話されたモノログやダイアログの概要を捉えようとしている。
読むこと	〔知識〕 this / that を用いた基本文と疑問詞 what を用いた疑問文の意味と形を理解している。 〔技能〕 this / that を用いた基本文と疑問詞 what を用いた疑問文に関する理解をもとに、留學生が経験した日本文化について書かれた文章を読み取る技能を身につけている。	留學生が経験した日本文化や、日本語に関する母国の友人への手紙の文章の概要を捉えている。	留學生が経験した日本文化や、日本語に関する母国の友人への手紙の文章の概要を捉えようとしている。
話すこと	〔知識〕 this / that を用いた基本文と疑問詞 what を用いた疑問文の意味・形・用法を理解している。 〔技能〕 this / that を用いた基本文と疑問詞 what を用いた疑問文に関する理	近くにあるものや遠くにあるものが何か尋ねたり、それに対して適切に答えたりしている。	近くにあるものや遠くにあるものが何か尋ねたり、それに対して適切に答えたりしようとしている。

	解をもとに、近くにあるものや遠くにあるものについて尋ねたり、それが何か書いたりする技能を身につけている。		
書くこと	<p>【知識】 this / that を用いた基本文と疑問詞 what を用いた疑問文の意味・形・用法を理解している。</p> <p>【技能】 this / that を用いた基本文と疑問詞 what を用いた疑問文に関する理解をもとに、近くにあるものや遠くにあるものについて尋ねたり、それが何か書いたりする技能を身につけている。</p>	近くにあるものや遠くにあるものが何か尋ねたり確認したりする文章や、それに対する回答を、適切な語句や文の形を用いて書いている。	近くにあるものや遠くにあるもの何れか尋ねたり確認したりする文章や、それに対する回答を、適切な語句や文の形を用いて書こうとしている。

### 9. 指導計画

時	学習内容
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ this/that の肯定文・否定文について知り、それに基づいて練習問題をやる。</li> <li>・ this/that の肯定文・否定文が使われた英文を音読しながら、本文に慣れ親しみ、内容を理解する。</li> </ul>
第2時(本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ this/that の疑問文、what を用いた疑問詞疑問文について知り、それに基づいて練習問題をやる。</li> <li>・ this/that の疑問文、what を用いた疑問詞疑問文が使われた英文を音読しながら、本文に慣れ親しみ、内容を理解する。</li> </ul>

### 10. 本時の展開

#### (1) 本時の目標

this/that の疑問文・what を用いた疑問詞疑問文について理解し、それをもとに文章を作成することができる。

#### (2) 本時の評価基準

- ① this/that の基本文(肯定文・疑問文)・what を用いた疑問詞疑問文の文の形・意味・用法を理解している。【知識・技能】
- ② ヒントを参考にしながら、例文を推測している。【思考・判断・表現】
- ③ クラスによる音読、相手とのペアワーク、クラスでの活動に積極的に参加しようとしている。【主体的に取り組む態度】

#### (3) 本時の学習過程

時間	学習内容と活動	先生の動き	生徒の動き	指導上の留意点	評価基準
導入 5分	1. 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶を生徒にする。</li> <li>・ 本日の体調を生徒に尋ねる。</li> <li>How are you today?</li> <li>・ 3人程度に本日の体調を尋ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶を先生にする。</li> <li>・ 本日の体調について回答する。</li> <li>[予想される回答]</li> <li>I'm good.</li> <li>I'm sleepy.</li> <li>I'm hungry. など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな声で、元気よく挨拶をする。</li> <li>・ 正しく発音する。</li> </ul>	
展開① 20分	<p>2. 本時の目標の確認</p> <p>3. ワークシートの(1)(2)を解く。(2分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートに書かれた本時の目標を読み、本時の授業の流れを生徒に説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の授業の流れに関する説明を聞く。</li> <li>・ 問題を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 机間巡視を行う。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>this/that の疑問文の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>

	4. (1)(2)の答え合わせをする。	・生徒を指名して答えさせる。その後、模範解答を伝え、その上で解説を加える。	・模範解答と自分の答えが一致しているか確認する。	・机間巡視をしながら、生徒がどの程度書き終えているか確認する。	<p>【取り組む態度】 既習事項を思い出し たり、ヒントを手がかり にしたりしながら、 問題を解こうとして いる。(行動観察)</p> <p>【思考・判断・表現】 ヒントを参考に、答え を推測している。</p>
<p>[ワークシートにおいて、生徒に意識させるチェック項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文頭の大文字、文末のピリオドやクエスチョンマーク</li> <li>・疑問文の語順</li> <li>・Is this / that～?の応答文では、主語がitに変わる(itは既に話題にのぼったものを指すため。)</li> <li>・冠詞</li> </ul> <p style="text-align: right;">*生徒の到達度に応じて、適宜補足を加える。</p>					
	5. ワークシートの(3)～(5)を解く。(2分30秒)	・解く指示を伝える。	・問題を解く。	・机間巡視をする。	<p>【知識・技能】 thisの肯定文, whatを用いた疑問詞疑問文の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 既習事項を思い出し たり、ヒントを手がかり にしたりしながら、 問題を解こうとして いる。(行動観察)</p> <p>【思考・判断・表現】 ヒントを参考に、答え を推測している。</p>
	6. (3)～(5)の答え合わせをする。	・模範解答を伝え、その上で解説を加える。	・模範解答と自分の答えが一致しているか確認する。	・机間巡視をしながら、生徒がどの程度書き終えているか確認する。	
	7. ワークシートの文を音読する。	・スライドを示しながら、音読をする。  スライドに全文を示して音読(1回目)	・先生の音読の後に続いて音読をする。	・正しい発音で音読をする。  ・生徒が適切な発音でなければ、都度止まって繰り返し音読をす	【主体的に学習に取り組む態度】 クラスによる音読に参加しようとしている。

<p>展開② 20分</p>	<p>8. 本文に登場する単語を確認する。</p> <p>9. 本文を音読する。</p> <p>10. ペアワーク ペアでそれぞれの役割で1回ずつ音読をし、終了したペアから座る活動をする。 →ペアを変えてもう一度同様の活動を行う。</p>	<p>→空欄のある本文をスライドに示し、穴埋めをしながら音読(2回目) →文章に関するイラストを見ながら、先生の後について音読(3回目)</p> <p>・教科書(p.55)を開く指示を出す。 ・単語を発音する。</p> <p>・スライドを示しながら、音読をする。</p> <p>スライドに全文を示して音読(1回目) →空欄のある本文をスライドに示し、穴埋めをしながら音読(2回目) →文章に関するイラストをスライドに見ながら、先生の後について音読(3回目)</p> <p>・ペアワークの指示を出す。</p>	<p>・教科書を開く。 ・単語の発音を繰り返す。</p> <p>・先生について音読をする。</p> <p>・指示を聞く。 ・ペアで音読をする。</p>	<p>る。</p> <p>・難しい発音の単語は音ごとに区切りながら指導する。 ・適切な発音ではなかった場合には再度発音する。</p> <p>・長い文章などは意味のかたまりごとなどで区切りながら、音読をする。 ・適切な発音ではなかったり、声小さかったりした場合には、再度音読をする。</p> <p>・机間巡視をする。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 クラスによる音読に参加しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 クラスによる音読に参加しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークに参加しようとしている。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>11. イラストを見ながらやや速く音読 9で行った、全体での音読で示したイラストと同様のスライドを示し、それを見て、9よりもやや速く音読をする。</p>	<p>・スライドにイラストを示す。</p>	<p>・それを見て音読する。</p>	<p>・適切な発音ではなかったり、声小さかったりした場合には、再度音読をする。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 クラス全体での音読に参加しようとしている。</p>

	12. 内容確認 内容確認を簡単に口頭で行う。	・内容に関する質問を行う。 [質問例] 「Dinuはどこにいる？」 「これは何、と聞かれたKateはどのように答えている？」	・内容確認の質問に答える。	・答えが出なかった場合には、適宜ヒントを出す。	【主体的に学習に取り組む態度】 クラスでの活動に参加しようとしている。
--	----------------------------	-------------------------------------------------------------------------	---------------	-------------------------	----------------------------------------

(4) 授業資料

① ワークシート

English Lesson 3-Part 2 ワークシート

～今日の授業の目標～  
This Thatと what を使った疑問文について学習し、  
その内容で問に答える文章を完成しながら、マスを埋め残して！

③ (1) (1) 何と何の 関係を持った疑問文  
～のびんがひびくのは何に対して何をしているかを聞いて、下線をかき入れて、下線を英語で埋めよう！～

のびん (1) 壊れているのか  
何と何 (1) 壊れているのか (1) 何と何 (1) 壊れているのか

壊れたもの (1) 壊れているのか (1) 壊れているのか (1) 壊れているのか

でもまた壊れることまでなら、のびんを壊さなければいけません！  
のびん (1) 壊れているのか、なぜか (1) 壊れているのか  
壊れたもの (1) 壊れているのか (1) 壊れているのか、どこでも壊れることまで壊さないで！  
のびん (1) 壊れているのか、これでワイワイ行きますか！

(1) **EPB**: 何と何の関係で、この「何と何の関係」でと書ったものを答えなさいか？  
\_\_\_\_\_

(2) 空を埋めて、どうもみんなの気持ちを表現しよう！ \*疑問文に答えることができます！  
( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ )

(1) この関係文は、どちらの関係を表していますか？  
\*コンピュータ関係は IT (computer) です。

\_\_\_\_\_

(4) **EPB**: 何と何の関係を表すか？ この関係文で何を表していますか？  
その例と同じように書いてください！  
( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ ) \*空欄に答える時は、横線を引いてください！

\_\_\_\_\_

(5) どの関係文が正しい？ (1) 何と何 (1) 何と何 (1) 何と何 (1) 何と何 (1) 何と何  
\*どこでも IT (internet) です。

\_\_\_\_\_

**Point!**

\_\_\_\_\_

② 教科書本文

Read フォント PC を使って印刷して授業に活用しよう。教科書 PDF のダウンロードもできます。

I'm at Wakoba Shrine.  
What's this?

It's an *ema*. People write their wishes on one side.

That's interesting.  
Is it a souvenir?

No, it isn't. People leave their *ema* at the shrine.

I see.

**Point!**

③ Listen / 2 Repeat / 3 Say

**Drill** POINTを覚えるよう

③ Listen / 2 Repeat / 3 Say

What's this? It's a/an...  
Is it a/an...? Yes/No, it's...  
I see.

What's this? It's a/an...  
Is it a/an...? Yes/No, it's...  
I see.

What's this? It's a/an...  
Is it a/an...? Yes/No, it's...  
I see.

What's this? It's a/an...  
Is it a/an...? Yes/No, it's...  
I see.

～今回の授業の目標～

This・Thatとwhatを使った疑問文について理解し、

そのうえで教科書本文を音読しながら、本字に慣れ親しもう！

1. This/thatとwhatを使った疑問文

～のび太がみつほ君について尋ねている文を音読し、下線部を英語にしてみよう！～

のび太：(1) これはペンの？

ドラえもん：(2) いや、違うよ。(3) これはコンピューターペンシルだよ。

でもまた変なことに使うから、のび太くんには買さないよ！

のび太：まあ、いいや。じゃあ、(4) これは何？

ドラえもん：(5) それはどこでもドアだよ。どこでも好きなところに行けるんだ！

のび太：じゃあ早く、これでハワイに行きたい！

(1) **ヒント**：以前の授業で、isは「be動詞の仲間」など思ったのを覚えてますか？

\_\_\_\_\_

(2) 空ひ替えて、ドラえもんの回答を完成させよう！ \*思ったとおり回答が1つあるよ！

( It / not / is / this / no / is / is )

\_\_\_\_\_

(3) thisの肯定文は、もう以前の授業で習いましたね！

\* コンピューターペンシル : computer pencil



\_\_\_\_\_

(4) **ヒント**：相手の名前を聞くときの文は、どのような順番で単語を書きましたか？

その時と同じように書いてみよう！

( ? / is / this ) \* 文庫に足りないものが1単語あります！

\_\_\_\_\_

(5) これで最後の問題！ 以前、isが「そこ」という意味で出てきましたね！

\* どこでもドア : anywhere door



\_\_\_\_\_

Point!

～今回の授業の目標～

This・Thatとwhatを使った疑問文について理解し、

そのうえで教科書本文を音読しながら、本字に慣れ親しもう！

1. This/thatとwhatを使った疑問文

～のび太がみつほ君について尋ねている文を音読し、下線部を英語にしてみよう！～

のび太：(1) これはペンの？

ドラえもん：(2) いや、違うよ。(3) これはコンピューターペンシルだよ。

でもまた変なことに使うから、のび太くんには買さないよ！

のび太：まあ、いいや。じゃあ、(4) これは何？

ドラえもん：(5) それはどこでもドアだよ。どこでも好きなところに行けるんだ！

のび太：じゃあ早く、これでハワイに行きたい！

(1) **ヒント**：以前の授業で、isは「be動詞の仲間」など思ったのを覚えてますか？

### Is this a pen?

(2) 空ひ替えて、ドラえもんの回答を完成させよう！ \*思ったとおり回答が1つあるよ！

( It / not / is / this / no / is / is )

No, it is not. ⇔ Yes, it is.

thisではなくit!!

(3) thisの肯定文は、もう以前の授業で習いましたね！

\* コンピューターペンシル : computer pencil



### This is a computer pencil.

(4) **ヒント**：相手の名前を聞くときの文は、どのような順番で単語を書きましたか？

その時と同じように書いてみよう！

( ? / is / this ) \* 文庫に足りないものが1単語あります！

### What is this?

順番に注意!!

(5) これで最後の問題！ 以前、isが「そこ」という意味で出てきましたね！

\* どこでもドア : anywhere door



### It is an anywhere door.

Point!

Is this/that~?  
What is this/that?

答えるときは**it**で答える!

**1. Is this a pen?**

1. Is this a pen?

**2. No, it is not.**

1. Is this a pen?

2. No, it is not.

**3. This is a computer pencil.**

1. Is this a pen?

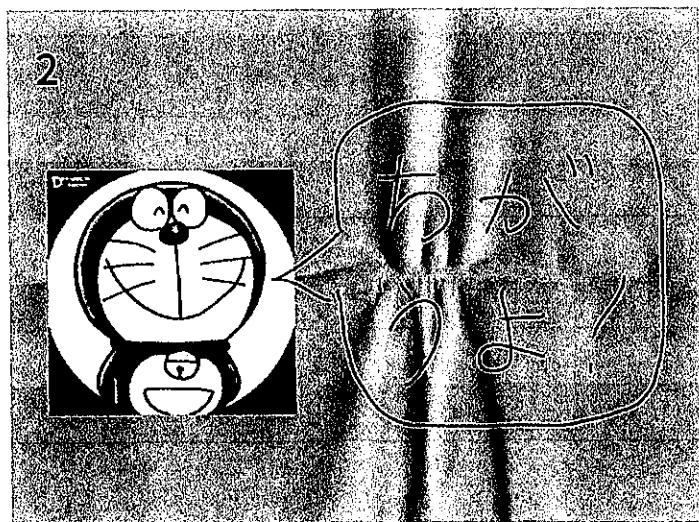
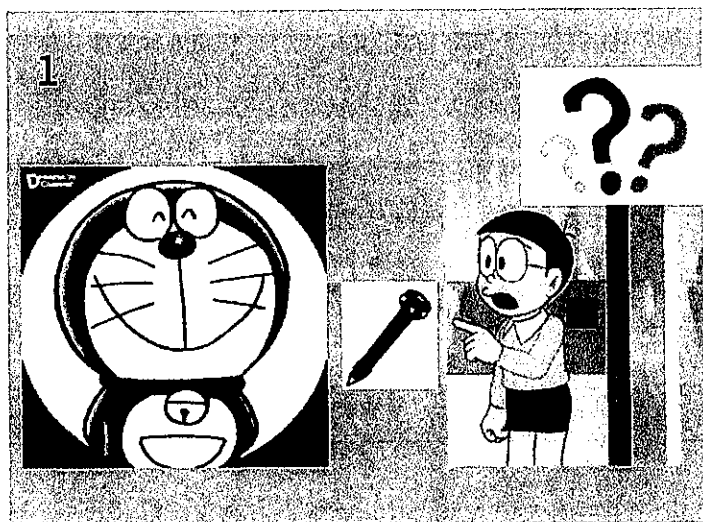
2. No, it is not.

3. This is a computer pencil.

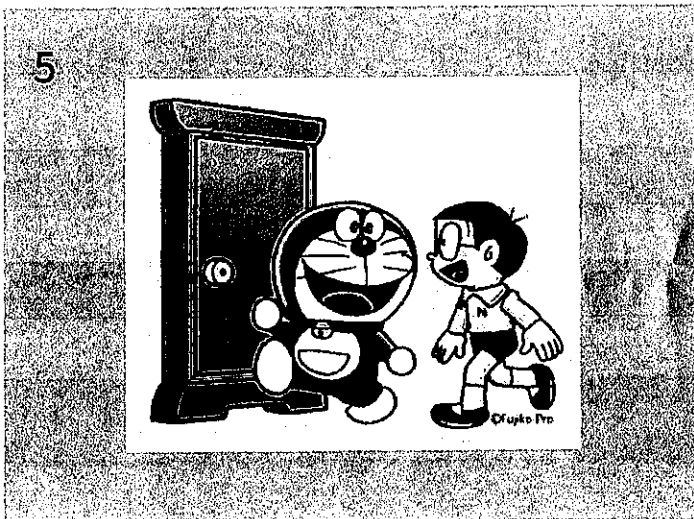
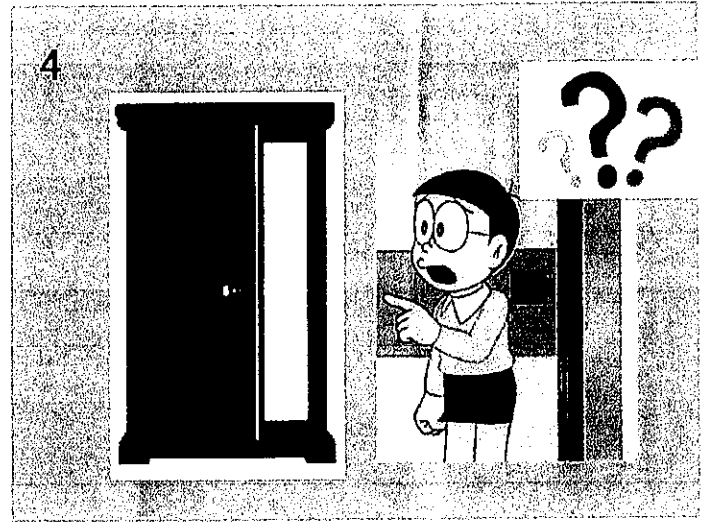
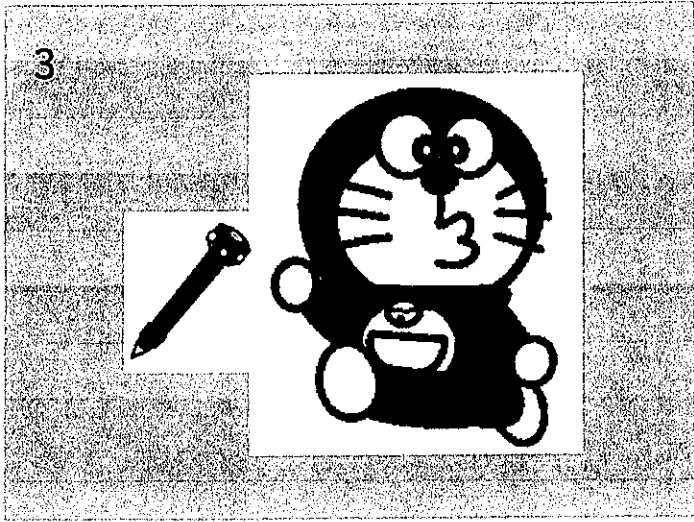
**4. What is this?**

1. Is this a pen?
2. No, it is not.
3. This is a computer pencil.
4. What is this?
- 5. It is an anywhere door.**

1. (I ) (t ) a pen?
2. No, (i ) (i ) (n ).
3. (T ) (i ) a computer pencil.
4. (W ) is (t )?
5. (I ) (i ) an anywhere door.







1. Dinu

- ① I'm at Wakaba Shrine.
- ② What's this?

2. Kate

- ① It's an ema.
- ② People write their wishes on one side.

3. Dinu

- ① That's interesting.
- ② Is it a souvenir?

4. Kate

- ① No, it isn't.
- ② People leave their ema at the shrine.

5. Dinu

I see.

1. Dinu

- ① I'm ( ) Wakaba (S ).
- ② (W ) (t )?

2. Kate

- ① (I ) an ema.
- ② People (w ) their (w ) on one (s ).

3. Dinu

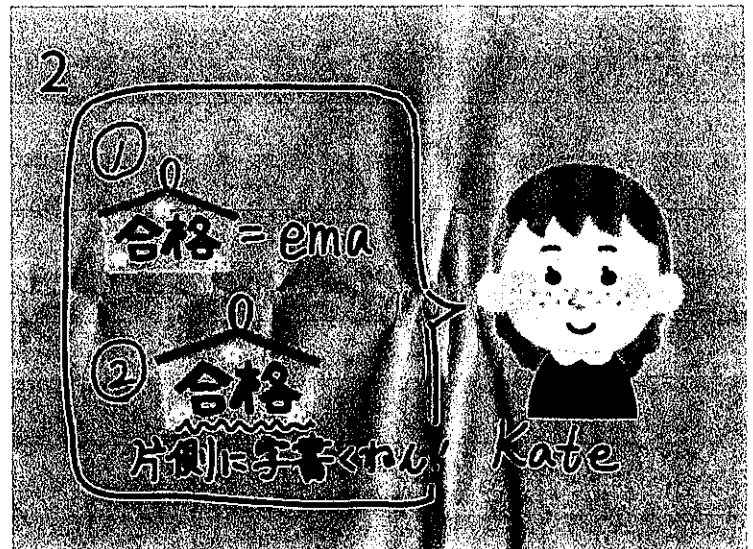
- ① (T ) interesting.
- ② (I ) (i ) a souvenir?

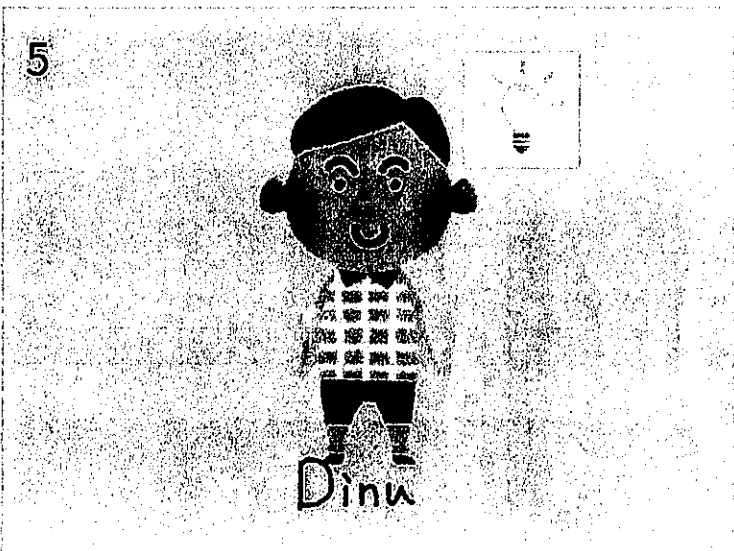
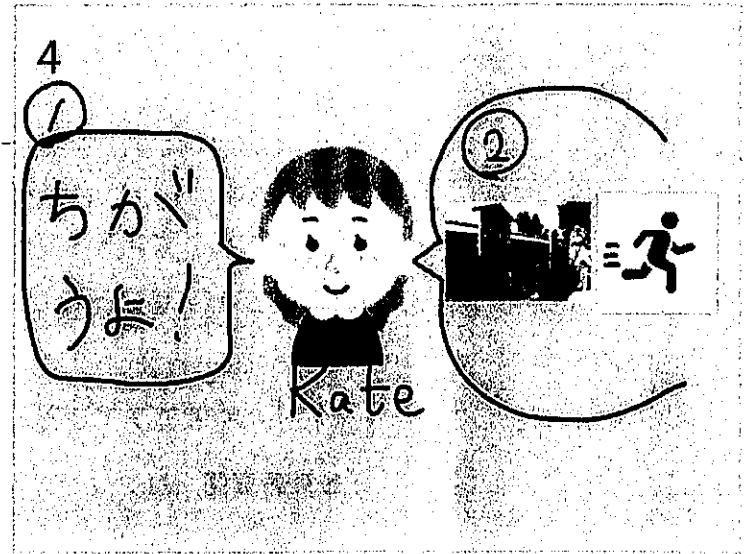
4. Kate

- ① No, (i ) isn't.
- ② People (i ) their ema at the (s ).

5. Dinu

I (s ).





1. Dinu  
 ① I'm at Wakaba Shrine.  
 ② What's this?

2. Kate  
 ① It's an ema.  
 ② People write their wishes on one side.

3. Dinu  
 ① That's interesting.  
 ② Is it a souvenir?

4. Kate  
 ① No, it isn't.  
 ② People leave their ema at the shrine.

5. Dinu  
 I see.